

9

サンククリア工法

NETIS
CG-990005-A
(掲載終了)

NETIS
CG-080009-V
(掲載終了)

最近では大型のプレキャストブロックが数多く使用される様になりました。その中でも施工方法の良否により、工事の出来ばえ仕上り等が大きく左右されます。又、施工性・安全性についても同時に考えていかなければならない重要な問題です。そこで、これらの問題点を一つ一つ試行錯誤を繰り返しながら解決してここに完成しましたのが油圧ジャッキ等を用いた施工方法「サンククリア工法」です。

施工現場につきものの「きつい」「汚い」「危険」の全てをクリアし、ほとんどの大型製品に応用可能な画期的工法です。



1 暗渠

2 擁壁

3 自由勾配側溝(VS側溝)

4 オリジナル側溝

5 道路用一般・側溝蓋

6 水路・農業

7 法面・河川・海岸

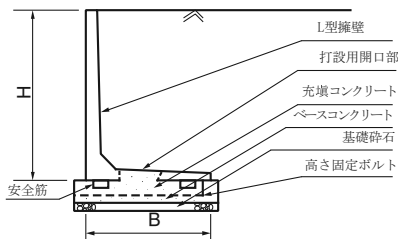
8 その他・特殊工法

9 下水道

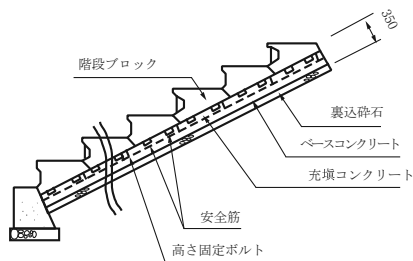
特長

〈各種断面図〉 サンククリア工法研究会

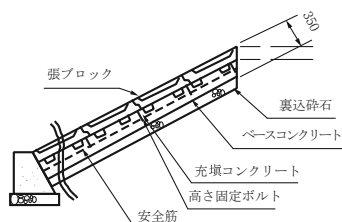
(1) L型擁壁



(2) 大型階段ブロック



(3) 大型張ブロック



1. 油圧ジャッキ等によるカンタン施工

製品据付の微調整は、つめ付油圧ジャッキ等で行う為、女性、高齢者の方でも無理なく行えます。

2. はさまれ事故のない安全施工

高さ固定ボルトと、基礎コンクリートと一体化兼用の安全鉄筋とで万一製品が落下した場合でも、製品にはさまれる事故がありません。

3. ブロックとコンクリートが完全一体化

製品に埋込まれた鉄筋で、基礎コンクリートと一体化になります。特にL型擁壁は、敷均しモルタル不用で、安全性において基礎上面での滑動はなくなります。

4. 幅広い応用施工

製品が大型化するほど有利になりパネル、階段、基礎ブロック、L型擁壁、張出歩道床版、カルパートなどはびひろく使用できます。

(本石張コンクリートパネル・ウォールパネル・VS側溝などにも応用できます。)